

MONOist AI Forum 2026

本格実装フェーズに入った製造業AI、
現場課題解決の最前線

開催日 : 2026年6月3日(水)~6月4日(木)

一次申込締切 : 2026年3月締切済)

最終申込締切 : セッションプラン…2026年4月27日(月)

全リストプラン …2026年5月26日(火)

名称	MONOist AI Forum 2026 ～本格実装フェーズに入った製造業AI、現場課題解決の最前線～
開催日	2026年6月3日(水)～6月4日(木)
一次申込締切	2026年3月締切済
最終申込締切	セッションプラン : 2026年4月27日(月) 全リストプラン : 2026年5月26日(火)
申込者数	想定500名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、 実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます
想定視聴者属性	製造業におけるDX推進担当、IT企画、経営企画、 設計・開発・生産管理・業務改善などに携わる実務層／管理職層 ※特に「工場×IT」「バックオフィス×業務効率」「AI導入検討層」 が中心
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
ご協賛プラン	セッションプラン 150万円～ 全リストプラン 210万円
主催・企画 告知・集客	
運営	アイティメディア株式会社

テーマ1 : AI × 技術伝承&設備保全

満枠につきセッションプランは
終売となります

【技術伝承】

ベテラン作業者の「匠の技」や「暗黙知」の伝承という最重要課題に対し、AIによる作業分析、マニュアル作成、ナレッジ検索など、**ノウハウを形式化するソリューション**を紹介します

キーワード

#技術伝承 #技能伝承 #暗黙知 #形式知化 #動画マニュアル など

【設備保全】

IoTセンサや画像データを活用した「予知保全 (PHM)」や「保全業務の効率化」など、**工場の安定稼働と省人化に直結する技術**に注目します

キーワード

#予知保全 #状態基準保全 #AI画像認識 #外観検査 #IoT #エッジAI など

テーマ2 : AI × サプライチェーン

地政学リスクや需要変動に対し、AIを活用した「需要予測」「在庫・生産計画の最適化」「サプライチェーンの可視化」に注目します。**ERPやIoTデータを統合し、意思決定の高度化とレジリエンス強化を実現するソリューション**などを幅広く提示します。

キーワード

#SCM #AI需要予測 #生産計画最適化 #在庫最適化 #サプライチェーン可視化 など

想定視聴者像

- **立場・役職**：製造業のSCM担当、生産管理、需給計画、物流企画などサプライチェーン全体の運用や調整を担う管理・実務層

テーマ3 : できるところから始めるAI&DX

「AIに関心はあるが、何から手をつけるべきか分からない」層に対し、現場の「業務効率化」に直結する**スモールスタート可能なソリューション** (RPA、AI-OCR、生成AI活用など) を提示します。

キーワード

#生成AI活用 #SaaS #脱・Excel #脱・紙業務 #RPA #AI-OCR など

想定視聴者像

- **立場・役職**：製造現場の責任者・業務改善リーダー (課長クラス)、複数業務を兼務
- **興味・関心**：AI・DXに関心はあるが、導入の第一歩が見えにくい

※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

類似イベント開催実績



名称	MONOist DX & AI Forum 2025 ～製造業DXの未来とAIの可能性～
開催日時	2025年12月10日（水）～12月12日（金） ※12月21日までアーカイブ配信
対象	製造業におけるDX推進担当、IT企画、経営企画、設計・開発・ 生産管理・業務改善などに携わる実務層／管理職層
主催	MONOist
全申込者数	586名
視聴者数	488名
申込みページ	https://members13.live.itmedia.co.jp/library/OTQyMTE%253D?group=2512_MONODX
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-01-13/2d36fzh

基調講演

◆BOPを中心としたブラザーグループのものづくりDX

ブラザー工業株式会社
品質・製造センター 技術開発部 グループマネジャー
西村 栄昭 氏

◆本当に使えるERPシステムとゴミ屋敷にならない統合データ基盤

株式会社フロンティアワン 代表取締役
一般財団法人エンジニアリング協会 スマート工場研究会委員
鍋野 敬一郎 氏

◆企業価値を高めるDXとは

政策研究大学院大学特任教授／金沢工大客員教授
一般社団法人ファクトリーサイエンティスト協会理事
西垣 淳子 氏

早稲田大学 研究戦略センター 教授
一般社団法人インダストリアルバリューチェーンイニシアティブ(IVI) 理事
楠 和浩 氏

協賛 (※50音順)

- アステリア株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社NTTデータ イントラマート
- オートデスク株式会社
- キャディ株式会社
- キンドリルジャパン株式会社
- コニカミノルタジャパン株式会
- ServiceNow Japan合同会社
- JMP Statistical Discovery LLC
- 株式会社セールスフォース・
ジャパン
- TDK株式会社
- トムソン・ロイター株式会社
- 株式会社ハイレゾ
- 株式会社ビズリーチ
- ミロ・ジャパン合同会社
- レノボ・ジャパン合同会社

本格実装フェーズに入った製造業AI、現場課題解決の最前線

製造業におけるAI活用は、概念実証や検討のフェーズを超え、いよいよ「本格実装」の段階に入りつつあります。特に生成AIの登場は、この流れを大きく加速させています。一方でAI活用の対象は、現場業務の効率化だけでなく、技能継承や設備保全、さらにはサプライチェーン全体の最適化へと広がっています。IoTなどによってフィジカルデータの取得が進み、製造業では現場から経営までを横断した意思決定の高度化が求められています。

本イベントでは、こうした変化を踏まえ、製造業のAI活用における主要テーマとして「業務効率化」「技術伝承」「設備保全」「サプライチェーン最適化」の4領域を設定。これらの課題に対する具体的なソリューションを提示することで、DX推進、IT企画、生産技術、SCMなどの実務層・管理職層に向けて、AI活用の実装イメージを提示します。AIを「どう使うか」という具体的なソリューション提案に集中することで、導入意欲の高いターゲット層へ自社技術の価値を訴求できる場となります。

テーマ**1**

AI ×
技術伝承 & 設備保全

テーマ**2**

AI × サプライチェーン

テーマ**3**

できるところから始める
AI & DX

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ1 | AI × 技術伝承 & 設備保全

技術伝承

ベテラン作業者の「**匠の技**」や「**暗黙知**」の**伝承**は、製造業の持続的な成長を左右する最重要課題です。
 本テーマでは、この難題にAIで挑みます。
 AIによる作業分析・動作の可視化、熟練者の判断基準のデータ化、AIマニュアル作成、ナレッジ検索・教育システムなど、**属人化しがちなノウハウを形式知化するソリューションは、課題意識の非常に高い層から注目されます。**

設備保全

複雑化する生産設備のダウンタイム最小化は、製造現場の生命線です。
 本テーマでは、**AIを活用した「予知保全（PHM）」「保全業務の効率化」**などに注目します。
 IoTセンサ、エッジAI、画像データを活用した異常検知・故障予兆ソリューションや、保全計画の最適化、AR/MRによる遠隔作業支援など、**工場の安定稼働と省人化に直結する高度な技術を訴求したい企業様にとって、最も親和性の高いセクションです。**

キーワード

技術伝承

- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| # 技術伝承 | # 属人化解消 | # 動作検知 | # 生成AI |
| # 技能伝承 | # 人材育成 | # 動画マニュアル | # AR/MR |
| # 暗黙知 | # OJT効率化 | # ナレッジベース | # 遠隔作業支援 |
| # 形式知化 | # AI作業分析 | # AI検索 | |

設備保全

- | | | | |
|---------------|----------|--------------|------------|
| # 設備保全 | # AI画像認識 | # センサデータ | # ダウンタイム削減 |
| # 予知保全（PHM） | # 外観検査 | # エッジAI | # 保全業務効率化 |
| # 状態基準保全（CBM） | # 異音検知 | # スマートファクトリー | # 保全計画最適化 |
| | # IoT | | # AR/MR |

想定視聴者像

技術伝承

- **立場・役職**：製造現場の管理職（課長～係長クラス）、教育・OJT・品質維持を担う
- **問題意識**：ベテラン退職により、技能や判断基準の喪失が現実的なリスクに
- **現場課題**：技能の属人化が進み、マニュアルや従来OJTでは育成が追いつかない
- **情報収集軸**：AIで何がどこまで可能か、現場負荷を増やさない導入像を重視
- **注目領域**：技能伝承、暗黙知の可視化、作業分析、動画マニュアル、生成AI、教育DX

設備保全

- **立場・役職**：製造業の設備保全・生産技術担当、工場の安定稼働を担う管理・実務層
- **問題意識**：突発停止やトラブルを減らしたいが、AI活用の実装像が見えにくい
- **現場課題**：保全履歴や点検データはあるものの、十分に活用できていない
- **情報収集軸**：どのレベルから使えるか、前提条件と運用まで含めた実例を重視
- **注目領域**：設備保全DX、AI異常検知、設備データ活用、IoT+AI、エッジAI、予兆検知

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

| テーマ2 | AI×サプライチェーン

地政学リスクや需要変動、部材不足などを背景に、製造業ではサプライチェーンの可視化と最適化の重要性が高まっています。本テーマでは、**AIを活用した需要予測、在庫最適化、生産計画最適化、サプライチェーン可視化**などに注目します。ERPやSCMシステム、物流・販売データに加え、IoTなどを通じて取得される現場データも活用し、サプライチェーン全体の意思決定を高度化するAI活用が注目されています。**フィジカルとデジタルを横断したサプライチェーン最適化やレジリエンス強化**を支援する技術を訴求したい企業様にとって、親和性の高いセクションです。

| キーワード

# SCM	# サプライチェーン可視化	# データ統合	# 生成AI
# AI需要予測	# サプライチェーンレジリエンス	# データ分析	
# 生産計画最適化	# 供給リスク管理	# IoT	
# 在庫最適化	# ERP	# フィジカルデータ	

| 想定視聴者像

- **立場・役職**：製造業のSCM担当、生産管理、需給計画、物流企画などサプライチェーン全体の運用や調整を担う管理・実務層
- **問題意識**：需要変動や供給リスクへの対応が難しく、需給調整や在庫判断が属人的になりがち
- **現場課題**：ERPや基幹システムにデータは蓄積されているものの、予測や意思決定に十分活用できていない
- **情報収集軸**：AIによる需要予測や在庫・生産計画の最適化など、実運用で活用できる具体的な事例を重視
- **注目領域**：サプライチェーン可視化、AI需要予測、在庫最適化、生産計画最適化、物流最適化、SCMデータ活用

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ3 | できるところから始めるAI&DX ※ 基調講演は過去講演の再配信を予定しております。

「AIに関心はあるが、何から手をつけるべきか分からない」「大規模な投資は難しい」と考える層は、依然としてボリュームゾーンです。

本テーマでは、現場の「業務効率化」に直結する

「**スモールスタート可能**」なソリューションに焦点を当てます。

AI-OCRによる紙業務の自動化、RPA、現場で使える生成AI活用、SaaS連携など、**導入効果を即座に実感できるAI/DXソリューションをお持ちの企業様にとって、最適な訴求の場です。**

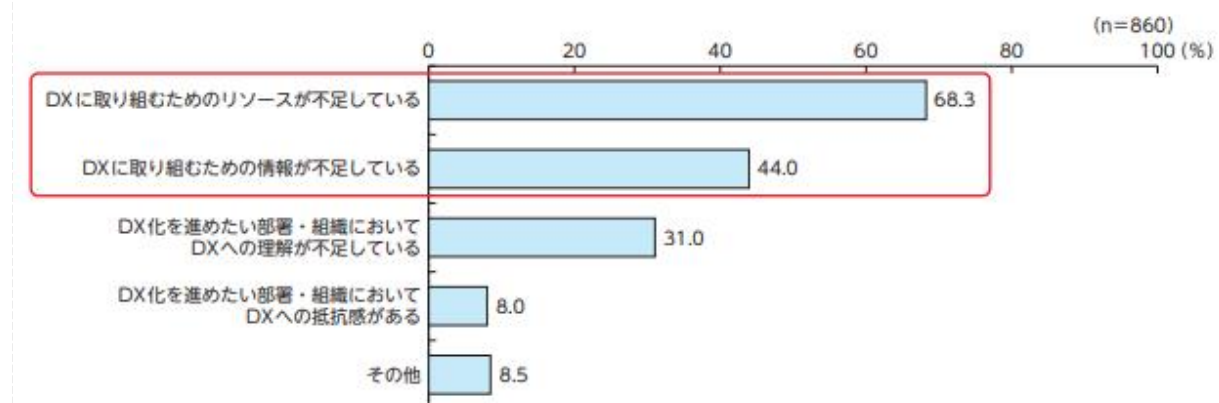
キーワード

- # 生成AI活用
- # SaaS
- # クラウド活用
- # 脱・Excel
- # 脱・紙業務
- # ペーパーレス
- # 業務効率化
- # コスト削減
- # RPA
- # AI-OCR
- # 簡易AI
- # スモールスタート
- # 現場改善
- # DXはじめの一步

想定視聴者像

- **立場・役職**：製造現場の責任者・業務改善リーダー（課長クラス）、複数業務を兼務
- **興味・関心**：AI・DXに関心はあるが、導入の第一歩が見えにくい
- **制約条件**：大規模投資や専任人材は難しく、紙・Excel業務が残存
- **情報収集軸**：小さく始められ、現場ですぐ使える失敗しにくい事例を重視
- **注目領域**：AI-OCR、RPA、生成AI、SaaSによる業務効率化・スモールスタート

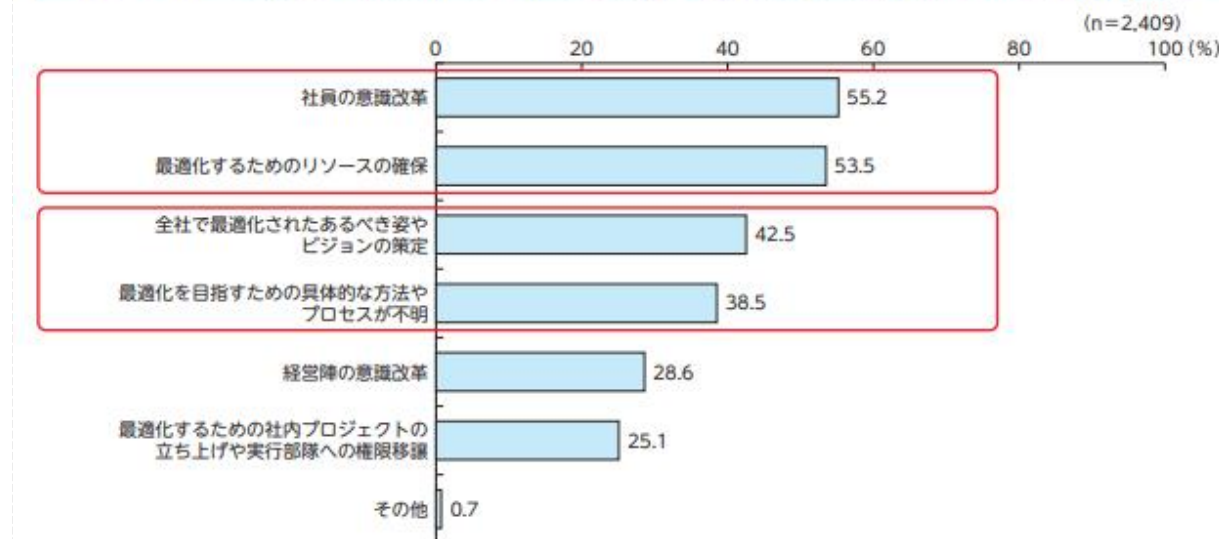
図521-4 DXに取り組んでいない又は成果が出ていない理由



備考：複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）「令和5年度製造基盤技術実態等調査（我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査）報告書」（2024年3月）

図521-5 事業部・組織の壁を越えた業務・意思決定の最適化を図る上での課題



備考：複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）「令和5年度製造基盤技術実態等調査（我が国ものづくり産業の課題と対応の方向性に関する調査）報告書」（2024年3月）

※出典：経済産業省 [2024年版ものづくり白書（ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告）](#)より

6月3日(水)

テーマ1：AI×技術伝承&設備保全

6月4日(木)

テーマ2：AI×サプライチェーン
テーマ3：できるところから始めるAI&DX

時間	枠時間	6月3日(水)	6月4日(木)
13:00~13:30	30分	基調講演1	基調講演2-1 (AI×サプライチェーン)
13:40~14:10	30分	スポンサーセッション1-1 DAY1-1-S101	スポンサーセッション2-1 DAY2-2-S201
14:20~14:50	30分	スポンサーセッション1-2 DAY1-1-S102	スポンサーセッション2-2 DAY2-2-S202
15:00~15:30	30分	スポンサーセッション1-3 DAY1-1-S103 完売御礼 満枠につき終売となります	基調講演2-2 (できるところから始めるAI&DX)
15:40~16:10	30分	スポンサーセッション1-4 DAY1-1-S104	スポンサーセッション2-3 DAY2-3-S203
16:20~16:50	30分	スポンサーセッション1-5 DAY1-1-S105	スポンサーセッション2-4 DAY2-3-S204
17:00~17:30	30分	スポンサーセッション1-6 DAY1-1-S106	

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

デジタルイベント協賛予約システム



ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！

申込可能な協賛枠や企業様のご協賛状況をリアルタイムで視覚的に確認可能です

ご予約はこちらから ▶ https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=125

ご協賛枠の予約受付完了までの流れ ※ 従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です



カレンダーの見方



① ご利用ガイド

- ご協賛を決定いただいたお客様
 - ・ 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- 仮押さえ有効期限について
 - ・ ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
 - ・ ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
 - ・ 4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
 - ・ 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
 - ・ 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- キャンセルに関して
 - ・ キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
 - ・ イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- 予約の変更に関して
 - ・ 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

	セッションプラン		全リストプラン
	ダイヤモンドプラン	シルバープラン	
	セッションで自社サービスをアピール可能！ 当社でも一番人気のプランです	自社セッションの視聴者リードのみを 獲得できるプランです	セッションの準備が難しいご協賛社様が、 手軽にリードを獲得できるプランです
スポンサーセッション	●	●	-
セッションアンケート	●	●	-
資料配布	●	●	-
視聴者リード（全件納品）	●	-	-
視聴者リード（上限あり） <small>アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象</small>	-	●※ （上限あり）	-
全申込者リスト（全件納品）	●	-	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●
事前アンケート結果	●	●	●
開催報告書	●	●	●
リスト件数 （すべてのリスト合計数）	500件想定	150件想定、250件上限	500件想定
備考	※リストの件数は想定数です（上限数を除く） ※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります		
料金 （すべて税別・グロス価格）	¥2,400,000-	¥1,500,000-	¥2,100,000-

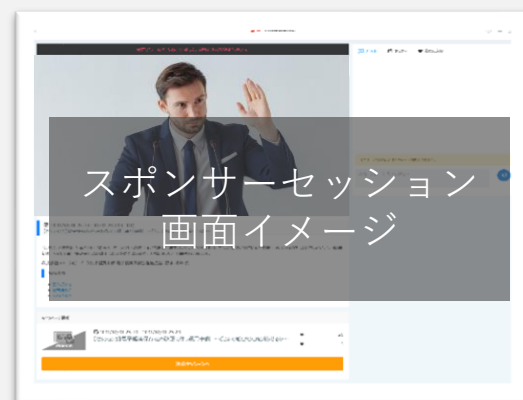
※シルバープランの視聴者リードに関して：

視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。

※視聴者リードには、セッションアンケート回答や資料閲覧のみ行ったリードも含まれます。

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能。



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供。
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで参加者へアンケートを実施。集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

参加意欲が高まる 開催2週間前～開催直前に注力

01

申込者数目標の達成

92.5%

80企画 中74企画が会期内に達成

02

申込者数達成率

122.4%

実申込者数 ÷ 想定申込者数
の中央値

03

参加率 (歩留まり)

82.2%

参加者数 ÷ 実申込者数の中央値

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



掲載動画イメージはこちら

③ ITmediaの各媒体から誘導を実施

④ 視聴者リードのご提供も可能

<https://techlive.itmedia.co.jp/>

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

[詳細はこちら](#)

※画像はイメージです。

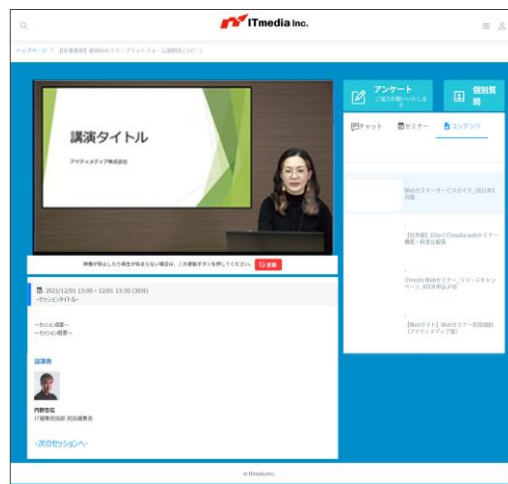
- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします。
- **掲載対象動画**
 - 当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- **掲載開始時期**
 - ご協賛いただくイベントが終了し次第順次（掲載タイミングにつきましては、当社に一任いただきます）
- **掲載費用**
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- **動画の取り扱い**
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - **動画タイトル・紹介文・サムネイル画像について**
 - 動画タイトルや概要文については、貴社講演の情報をもとに、視聴者に伝わりやすいよう当社で変更する場合がございます。
 - 動画のサムネイル画像については当社に一任いただきます。
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **動画の視聴について**
 - オープニングはどなたでも視聴可能ですが、最後まで視聴するにはアイティメディアID会員に登録が必要です。
- **視聴者のリード情報について**
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

イベントで配信したセッション動画を二次展開し、さらなるリード獲得にご活用いただけます

本イベント セッション登壇付きプラン

スポンサーセッションを通じて、
当該テーマで情報収集中の読者に対し
貴社メッセージを訴求いただけます。

▼スポンサーセッション配信画面イメージ



リード提供数

500件想定

※ ダイヤモンドプランの場合
※ イベント、プランによって変動します

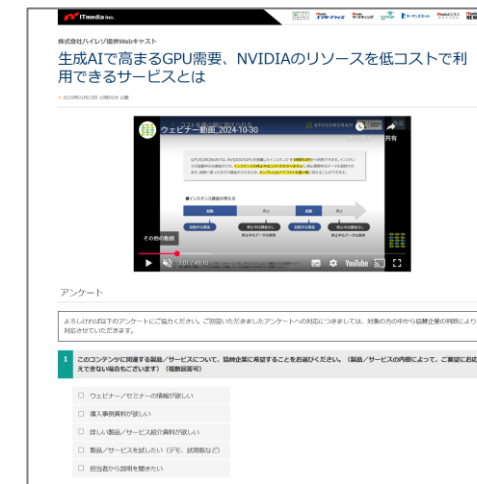
オプションメニュー セッション動画活用リード獲得

本イベントご講演動画1本+貴社ご所有の関連コンテンツ1~2本を
弊社メディア内に掲載し、閲覧者のリードを提供します。
(マスク化して設置し、閲覧時に個人情報提供の許諾を取得)

▼コンテンツ紹介画面



▼コンテンツ閲覧画面
(動画の場合)



詳細は[こちら](#)をご覧ください。

リード提供数

+100件保証

※ ユーザー企業限定

料金 (税別・グロス価格)

¥3,300,000-

※画像はイメージです。

貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

セッション収録サポート

開催日1.5カ月前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000～**

リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1in>

料金 **¥200,000**

リードカスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvz>

料金はリード件数によって変動

アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画（1分以内を推奨、最長2分まで）の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvz>

料金 **¥500,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechFactoryに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvr>

建設業向け：¥1,300,000
製造業向け：¥1,100,000

料金 **¥900,000**

レポート記事配信（ターゲットへプッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアッププッシュターゲティング & ABM 15,000通～

料金 **¥1,000,000～**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- モノづくり・建築などの産業テクノロジー関心層が多く集まるメディア横断でタイアップ記事への誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvk>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

セッションパンフレット作成（製造・建設関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvv>

産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,500,000**

パネルディスカッションパッケージ
コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

料金 **¥3,000,000**

価格・割引率はご協賛イベントによって変動いたします。

カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk>

料金 **¥50,000～**

CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

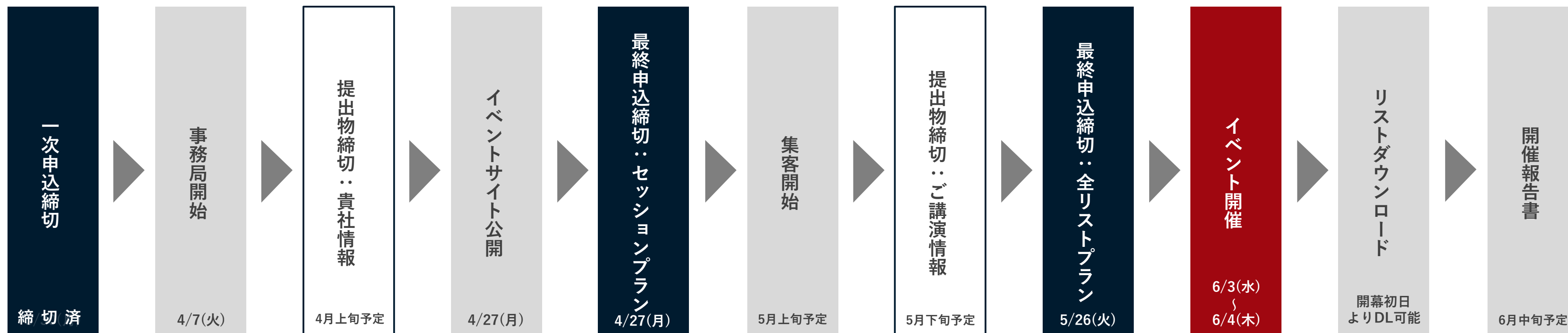
※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

お申し込みからの流れ

確定したスケジュールはイベント事務局よりご連絡いたします。



ご出展意思を担当営業にお伝えください。
後日弊社より発注書を送付いたしますのでDocuSignにご署名のうえご返送ください。

セッションプラン

- 貴社ロゴデータ
- 講演情報
- 企業情報
- セッション登録用紙

全リストプラン

- 貴社ロゴデータ
- 企業情報

上記を事務局へ提出いただきます。
詳細は事務局よりご案内させていただきます。

視聴希望者の事前登録を開始いたします。

登録・視聴促進の為、ギフトカードなどのプレゼント施策を行う場合がございます。

セッションプラン

<録画配信の場合>

- 講演録画データ(mp4形式)
- 講演用データ(ppt/pptx形式)
- アンケート
- 配布資料
- 講演者写真

<ライブ配信の場合>

- 講演用データ(ppt/pptx形式)
- Poll (投票)
- アンケート
- 配布資料
- 講演者写真

終了後1~2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出いたします。

※予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする場合がございます。あらかじめご了承ください。

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

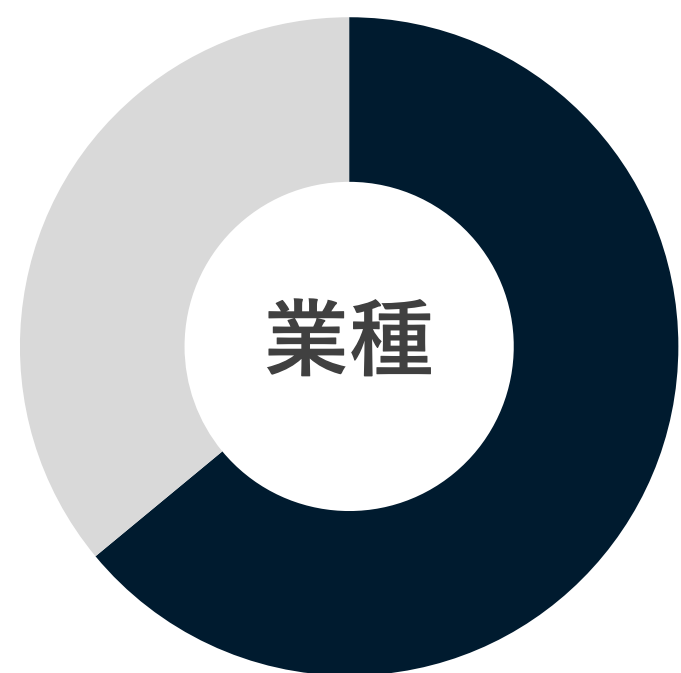
リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いため、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

MONOist

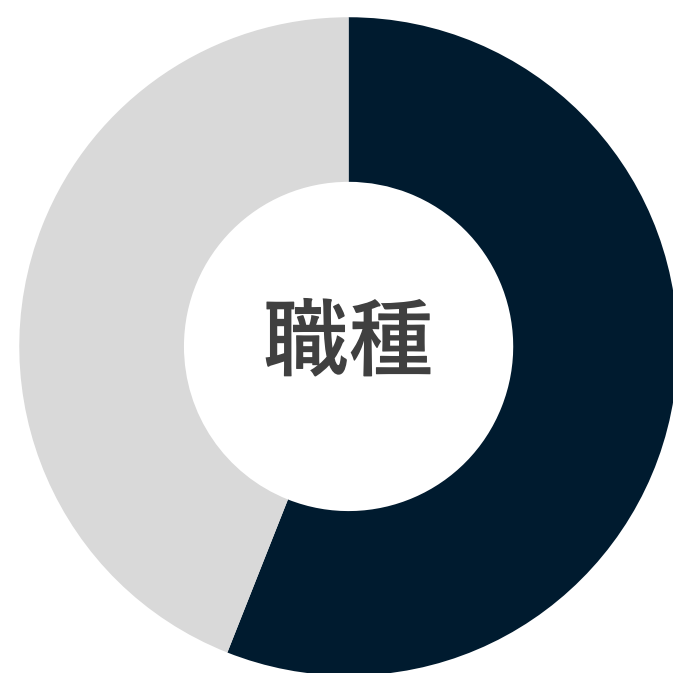
日本の“モノづくり”を支援する専門情報メディア

- 媒体資料 <https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-08-27/r9tr59>
- URL <https://monoist.itmedia.co.jp>
- PV/UB 約187万 PV/月 約74万 UB/月 ※2025年12月実績
- メルマガ配信数 モノづくり総合版 約22.1万通



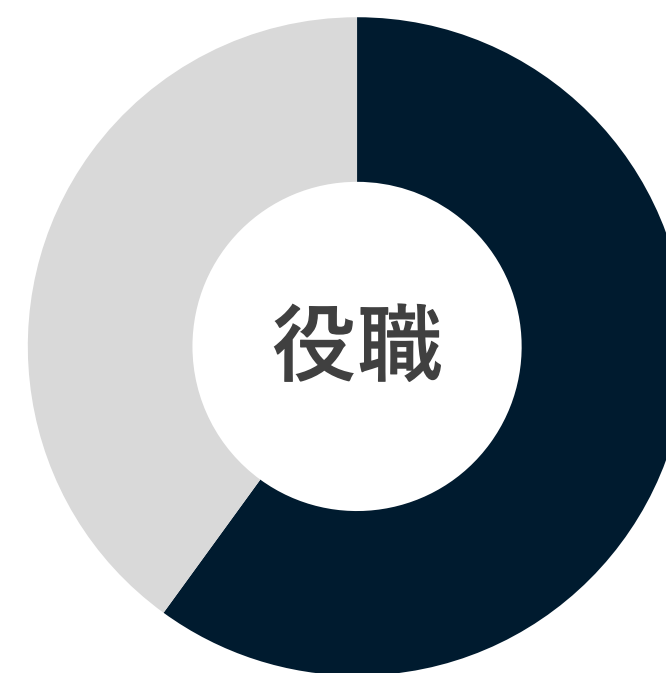
製造業 約**64%**

主な内訳：製造業64.0%,情報サービス11.3%,その他24.5%



モノづくり関連職 約**56%**

主な内訳：モノづくり関連職 55.8%,
社内情報システム14.2%,経営・経営企画5.1 %



役職者 約**60%**

主な内訳：課長クラス22.1%,
係長・主任クラス18.1%,部長クラス10.5%

※「MONOist読者調査2025（2025年8月）」より



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)